



成人式

平成26年上士幌町成人式が1月12日（日）に上士幌町生涯学習センターで開催されました。式には男性19人・女性11人の計30名の新成人が出席し、大人としての新たな一歩を踏み出しました。



消防団に入団したナジエーシダさんは「消防団の活動で町の役に立ったり、色々な人と知り合えたら。」と意

平成26年上士幌消防団出初め式にあわせて同消防団の辞令交付式が行われ、町内在住でロシア出身の石野ナジエーシダさんが道内では初となる、外国籍を持つ女性消防団員に任命されました。夫の雄介さんとともに

道内初となる外国籍の女性消防団員が誕生

にはケーキとシャンメリーで年末の楽しいひとときを過ごしました。



1月5日

今年のはクリスマス曲や「あまちゃん」のオープニングテーマなどがトーンチャイムと吹奏楽で披露され、コンサート終了後は

ほがらかサロンクリスマスコンサート

12月27日

社会福祉協議会主催による「ほがらかサロンクリスマスロビーコンサート2013」がふれあいプラザで開催され、約90名のみなさんが上士幌高校吹奏楽部の演奏を鑑賞しました。

平成25年度かみっ子ふるさと体感塾「生活体験合宿」が、1月8日～10日の日程で上士幌中学校を舞台に開催されました。

参加した小学3～6年生の14名の子どもたちは、「炊事」や「洗濯」など日常生活に関わる活動をこなしながら、充実した3日間の合宿生活を送りました。



5年度 かみっ子ふるさと体感塾

2014. 1. 8 (水) ~ 1. 10 (金)

12・1月の まちのわだ 生活体験合宿

みんなで協力して生活しよう! ~

人 心 きたえあう「ふゆ」~北国に生きる力
北国の自然を友として 心と身体をきたえよう

「まちのわだ」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

気込みを語り、この日は早速、女性消防団員の一人として出初式の行進などをこなしていました。

1月8日

「おばあちゃん」と「ほろんちゃん」を制作



図書館主催の手芸教室「おばあちゃん」と作ろう「手作りほろんちゃん」が生涯学習センターで開催され、手芸サークルのおばあちゃん5名と子ども9名がフェルト製のほろんちゃんを制作しました。教室では男の子も器用に針を使っており、目や口は各自が好きなようアレンジして、それぞれ個性のある可愛いらしいほろんちゃんを作りあげていました。

1月9日

「1110番の日」を熱気球でPR

1月10日の「1110番の日」にあわせ、帯広警察署上士幌駐在所の警察官や上士幌高校熱気球部の生徒などが、役場裏グラウンドで熱気球の係留を行いました。7年ほど前から1110番の啓発活動として行っているもので、この日は垂れ幕を下げた熱気球が地上20〜30メートルまで上昇して「1110番の日」をPRしました。上士幌駐在所の荒尾正範所長は「1110番は急を要

する事件・事故を通報するための電話です。それ以外の相談や要望は#9110番を利用するか、帯広警察署にご連絡ください。」と話されていました。



1月17日

冬休み子ども料理教室



ふれあいプラザ調理室にて、「給食メニューをつくってみよう」をテーマに「冬休み子ども料理教室」が開催されました。

この日は、小学4年生〜6年生の計7名が、町の栄養士3人の指導のもと、ミートソースパグッティ、豆腐のサラダ、果物のヨーグルトあえの3品を料理しました。料理では特に野菜のみじん切りが難しかったようで、料理後の食事の際中で、「難しかったところもあったけど、おいしくできてよかった。」との声が挙がっていました。

置戸町の佐々木さんが食育ワークショップ



置戸町で「地産地消の給食」を実現して注目されている「食アドバイザー」の佐々木十美さんをお招きし、地産地消と食育をテーマにした講演会と料理教室を開催しました。

17日夜、「子どもたちの食を育てる」と題した町民向けの講演会では、「子どもが好きなものを作るのではなく、子どもの健康にとって必要な、食べさせたいものを作るべき。」という哲学を語るとともに、置戸町で行ってきた給食活動を通じ、「安全な食」には、まず添加物のない食材選びが重要と強調しました。

また翌日には、給食センターや保育所の調理員を対象に、地元食材を使った地産地消の給食作りのための料理指導を行いました。



地産地消料理レシピ

農林商工の連携による特産品の開発・商品化の支援の一環として、平成25年2月4日に料理研究家・馬場香織氏を講師に招いて地産地消料理試食会を開催しました。

その際に試食した料理を不定期でご紹介します。

材料 (8人前)

- 豚ひき肉…300g ●長いも…200g(5ミリ角)
- しょうが…15g(みじんぎり)
- 葱…1本(白いところみじん切り)
- 餃子の皮…1袋48枚
- 餡…塩小さじ1/4、酒大さじ1、醤油大さじ1、ごま油適量 ●たれ…酢醤油+ラー油

作り方

1. ボールにひき肉をいれ、調味料を入れよく混ぜる
2. 長いも・生姜・ねぎも加え餡をつくる
3. 餃子の皮に餡をもりつけ、もう一枚をかぶして、はじをフォークでおしながらとめる
4. テフロンのフライパンにごま油をしいて、両面を焼きいただく

長いも餃子



▲地場産の長いもや豚肉を使ってみましょう

町では、農林商工連携による新商品の開発に対して支援を行なっています。
詳しくは役場商工観光課商工担当(内線241)にご相談ください。

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲民泊先で食べたゴーヤチャンプルー

12月6日(金)～10日(火)にかけて2年生が沖縄へ見学旅行に行きました。旅行では「二度と戦争を起こさないために、沖縄戦を深く理解する」「沖縄の文化を学び自分たちの世界観を広げる」の二つを目標としました。

3日目に行なわれた平和学習では、沖縄戦で実際に使用された壕を見学しました。また、平和講演では沖縄戦の現実や戦後の沖縄の現状を聴かせてもらいました。生徒たちは戦争とはどういうものなのか、戦争がいかに悲惨なものなのかを学ぶことが出来ました。

4日目は、地元の方の家に泊まらせてもらって民泊でした。沖縄料理を食べたり、観光をさせてもらいました。北海道とはまったく違う習慣や料理に戸惑う生徒もいましたが、最後のお別れでは涙を流しながらお礼をする生徒もいました。

この見学旅行を通して、生徒一人ひとりがしっかりとした意識をもち、これから始まる進路活動に活かせる良い機会となりました。

12月6日(金)～10日(火)
見学旅行で学んだ生徒たち

文責 岩間輝

町民(文)芸

川柳

短歌

冬空に花を咲かせるバルーンフェス
アラフォーもいつか結ばる赤い糸
おぞうにをたべて正月かみしめる
新年の散髪気持ちもあらたまり
お父さんあと十年は生きてくれ
色映える夜の雪像冬火花
ああ無情後期高齢仲間入り
折れた手も賀状の馬に福もらう
にっぽんの四季が壊れる温暖化

オレンジの光彩放ち日は入りぬひと日勤めて出でし冬空
気合入れ作りしお節食べ終へて家族ら去りぬ少しの静寂
八十九歳息子らと初詣おみくじの吉に社の松枝に結ぶ
夫と離れて暮らす折おりに施設に訪ね笑顔にうれし
甘酸き梅漬ひとつ朝々の食事に添へりならひとなして
つひ四、五年まえと思ひしが十年を経しとふ己が記憶におどろく

白坂桜小薮米高米鈴
石田池根森木森木
い花由博誠真
馨子絵希子守樹也弓豊

本高石
間木川
栞慶裕
風子子

平成25年12月末現在の人口

男 2,440人(-7) 人口 5,005人(-9)
女 2,565人(-2) 世帯数 2,338世帯(-3)

寄付

一ふるさと納税(敬称略)

- ▶ 1万円…加藤誠児(東京都)、伊藤清元(岐阜)、山下進(北海道)、今井広宣(岐阜)、日下政志(千葉)、伊藤修(秋田)、名嘉毛紀喜(沖縄)、加島一男(神奈川)、安藤賢一(愛知)、城健太郎(熊本)、松田恭治(東京)、高野壮一(埼玉)、吉野忠大(大阪)、中嶋教晶(埼玉)、森本すみ子(茨城)、加藤良大(岩手)、浅野幸彦(北海道)、小田切幸次(山梨)、田中重(新潟)、神鳥勝則(神奈川)、真木野正幸(福島)、石渡善基(東京都)、石原敬(大阪)、望月茂(東京)、工藤博(北海道)、片野栄子(新潟)、和田英樹(京都)、斎藤利樹(埼玉)、武笠和夫(東京)、筒井勇(東京)、中村君子(北海道)、
- ▶ 2万円…塚田耕嗣(神奈川)、鎌倉公恵(愛知)、木村謙(大阪)、久保木昌吉(東京)、大友俊一(北海道)、大原治(東京)、島袋浩(和歌山)、奥崎廣史(静岡)、岩元幸星(東京)、市瀬香央理(福島)、斎藤正治(北海道)、
- ▶ 3万円…谷口直彦(東京)、曾田正彦(埼玉)
- ▶ 5万円…中村仁一(京都)、LEE ERIC TSUNG-HAN(東京)、小原光雅(大阪)、高瀬泰造(愛媛)、伊藤公平(愛知)、松岡大藏(奈良)、山口裕之(京都)、飯嶋肇(千葉)、酒井征二(山梨)、榎本伸二郎(東京)、栗原博(神奈川)、鈴木邦嘉(愛知)
- ▶ 6万円…原智彦(東京)
- ▶ 10万円…濱井弘利(石川)、岡田篤哉(大阪)
- ▶ 15万円…鳥居幹男(愛知)

お詫びと訂正

先月号、「年頭のごあいさつ(P1~2)」のタイトル部分について、年号と干支の表記に誤りがございました。

(誤)平成25年 巳年 → (正)平成26年 午年
訂正し深くお詫び申し上げます。

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



編集後記

❖寒さが最も身にしみる季節がやってきました。❖この時期特に気をつけたのが「水道の凍結」。我が家はトイレの管が凍結しやすい作りになっているのですが、今年こそは水道屋さんのお世話にならないよう気をつけたいと思います。(冬は余計な出費がかさみます…Y)

❖先日、娘が初めてスピードスケートをしました。その際、一人では心細いということで、私も23年ぶりにスケートをしました。❖まるで生まれたての小鹿のような二人…「教える」には、私がちょっと…。ということで、まずは、「楽しむ」ことからスタートしました。(次は初スキーです。名誉回復できるはず…たぶん…K)

広報 **がみしほろ** 3月号は 2月25日(火) 発行予定